CASE STUDY

栄研化学株式会社 様

業務効率向上と環境配慮を両立するオフィスづくり
サステナビリティを“日常の業務環境”から実現

栄研化学株式会社は、大腸がん検診で行われる便潜血検査をはじめ、病院や健診施設で行われる尿検査、感染症診断など、臨床検査分野で使用される試薬および装置を提供しています。同社は2025年9月に、本社機能を東京都千代田区の御茶ノ水ソラシティへ移転しました。移転に伴うオフィス環境の刷新に際し、USB Type-C対応のEIZOモニターを2機種、計220台導入いただきました。また、設置作業も当社にて実施しました。導入の経緯、選定理由、導入後の感想をご担当者に伺いました。

■導入製品

FlexScan EV2485（24.1型 1920×1200）　141台
FlexScan EV2795（27.0型 2560×1440）　79台

栄研化学株式会社

左から順に
経営管理本部コーポレート戦略統括部部長 兼サステナビリティ推進部部長　戸田 和絵 氏
経営管理本部コーポレート管理統括部総務部部長　干場 邦弘 氏
経営管理本部コーポレート管理統括部総務部総務課課長　森薗 俊一 氏
営業本部海外営業統括部海外営業管理部　松本 研一 氏
経営管理本部コーポレート戦略統括部サステナビリティ推進部　東風平 朝克 氏

モニター導入前の要望	・業務内容に応じて働く場所を自由に選択できるワークスタイルを採用し、どの席でも快適に働ける環境を整備したい。 ・新オフィスでは明るく開放的かつ統一感のある空間を実現したい。 ・環境に配慮した製品を選択することで、設備面からも企業のサステナビリティ方針を体現したい。

モニター導入後の効果	・USB Type-C対応のモニターを採用し、ケーブル1本の接続ですぐに業務を開始できる環境を実現、作業効率がアップ。 ・白色のモニター筐体とケーブルが、明るいオフィスづくりに貢献。 ・省電力設計のモニターを廃棄量の少ない集合梱包で納品。企業のサステナビリティ方針とも合致。

本社移転を契機に、どの席でも快適に働ける環境を整備

本社移転プロジェクトでは、拠点の変更に合わせてオフィス環境のあり方を見直しました。旧オフィスは複数フロアに分散しており、部署間のコミュニケーションが取りづらい構造でした。このような背景から、新オフィスでは業務内容に応じて働く場所を選択できるActivity Based Working（ABW）を導入。固定席を廃止し、柔軟な働き方を可能にする環境へと転換しました。

その中で大きなテーマとなったのが、「どの席でも快適に働ける」ことです。席ごとに設備や操作性に差がある環境では、自由度がかえって業務効率の低下につながります。そのため、モニター環境には、席を移動しても同じ条件で業務を開始できること、設定変更の手間が少ないことが求められました。

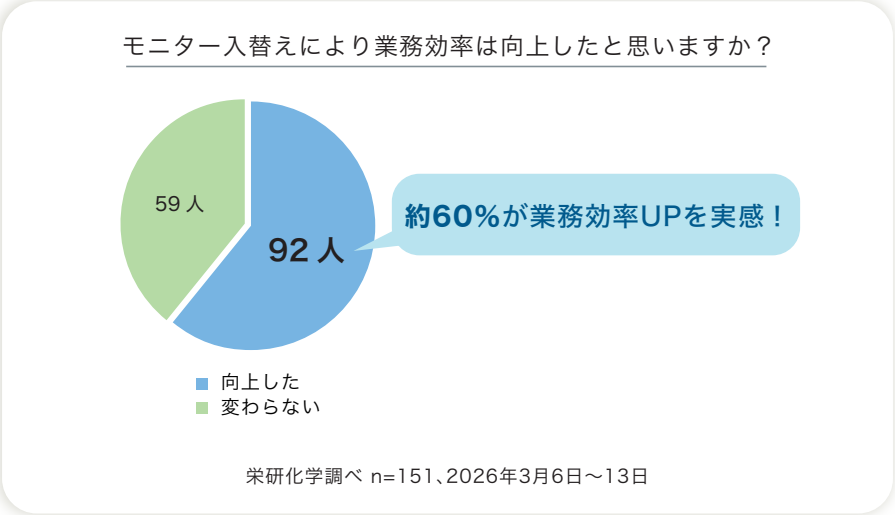
モニターの選定には作業領域の広さや操作性を重視

モニター選定にあたっては、複数メーカーの製品を比較しながら、実際の業務を想定した検証を行いました。中でも重視したのは、広い作業領域と視認性、そして設定変更の手間がかからないことです。検証の結果、A4資料を複数同時に表示できる十分な作業領域と視認性を備えた、WUXGA解像度で縦に広い24.1型モニター「FlexScan EV2485」と27型大画面の「FlexScan EV2795」を採用しました。

モニター導入後は頻繁にスクロールやズーム操作を行う必要がなくなり、資料閲覧やデータ入力、分析作業などの効率が大きく向上しました。また、設定を大きく変えることなく業務を開始できる点も評価しています。どの席でも快適に働ける環境を実現できました。

モニターを導入して半年後に、今後の機器選定や環境改善の参考とするため、社員にモニターの使用感に関するアンケートを実施しました※。その結果、回答者の約60％が業務効率の向上を実感しており、使用感についても「資料を紙に印刷して確認する必要がなくなった」、「解像度が高くなったことで、細かい文字が見やすい」「ノートPCとモニター2画面での資料確認がしやすくなった」といった具体的な効果が表れていました。広い作業領域と視認性向上が、日常業務の効率向上に直結していることを示しています。

※ 本アンケートデータは、栄研化学株式会社にて実施された社内アンケート結果をもとに当社が編集・掲載しています。調査は2026年3月6日～3月13日に実施され、151名から回答を得ています。



また、「画面が見やすく、長時間作業でも目が疲れにくい」といった声も多く寄せられています。視認性の高さや目にやさしい設計により、作業の快適さが向上し、身体への負担軽減にもつながっています。新オフィスの目指す従業員の快適性と健康への配慮にもEIZOモニターが貢献しています。

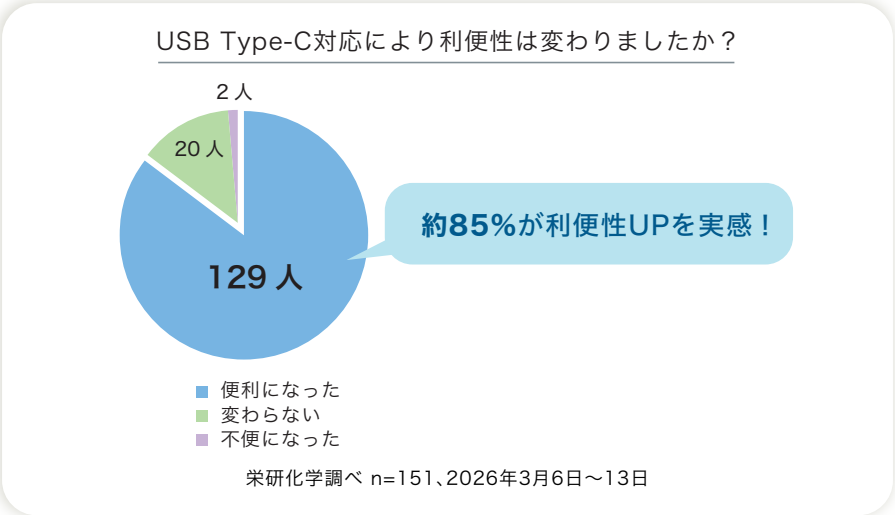
USB Type-C対応モニターで、どの席でもスムーズに業務を開始

ABWを採用しているオフィスでは、日々違う席で業務を行うことが多く、スムーズに作業を始められるかどうかが重要です。機器接続に手間がかかる環境では、日々の小さな負担の積み重ねが、業務効率に影響を与える要因となります。

今回導入したモニター2機種ともUSB Type-Cに対応しており、映像出力と給電をケーブル1本で完結できます。ノートPCを接続するだけで即座に作業を開始でき、快適です。

USB Type-Cのケーブル1本接続で、すぐに業務を開始

アンケートでも、約85%の社員が利便性の向上を実感しており、特に席を離れる際にACアダプタの持ち運びが不要になった点や、配線がシンプルになりデスク周りが整理された点が評価されています。

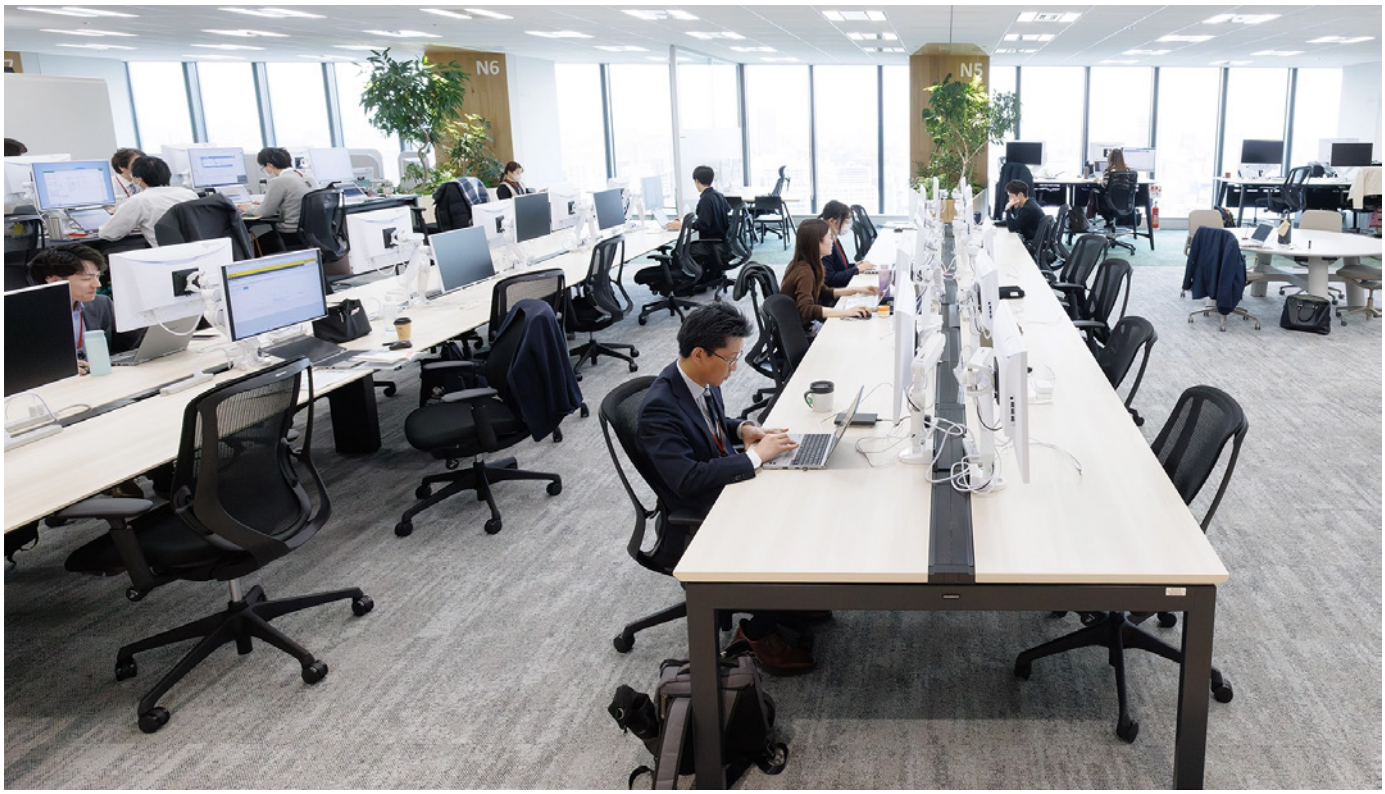


空間デザインと調和するホワイトモデルを採用

新オフィスには、空間全体のデザインにも強いこだわりがあります。グレー・ホワイト・ベージュを基調に、自然光やグリーンを取り入れた明るく開放的な空間を意識して設計しているので什器や家具との統一感も重視しています。

その中で、モニターの色も重要な選定ポイントとなりました。従来のブラックではなく、ホワイトの筐体を採用することで、空間になじみながら、明るく洗練された印象をもった環境を実現しています。また、検討にあたっては、EIZOのWebサイトに掲載されているさまざまな企業のモニター導入事例も参考にしました。当社と同様にグレーやホワイトを基調としたオフィスでの活用例を通じて、設置後のイメージや空間との調和を具体的に想像できた点も、採用の後押しとなりました。

さらに、ケーブルもホワイトで統一されているため、配線の存在感が抑えられ、整然としたデスク環境を実現しています。オフィス全体の印象向上にも寄与しており、社員からも好評です。



環境負荷低減とサステナビリティへの貢献

今回の移転では、サステナビリティを意識したオフィスづくりも重視しています。オフィスでは再生可能エネルギー由来100%の電力を使用するほか、資源の再利用・循環など、環境負荷を減らす取組みを進めています。

▶オフィス移転について（ニュースリリースへ） https://ssl4.eir-parts.net/doc/4549/tdnet/2687587/00.pdf

什器選びにおいても、その方針に沿って選定しました。EIZOモニターは省電力設計であり、他社製品と比較して消費電力の削減に貢献しています。

新オフィスではモニターは画面をアームに取付ける運用に決めたので、モニタースタンドは不要でした。そこで製品納品時に環境にやさしい納品パッケージ仕様（スタンドレス、集合梱包仕様）をご提案いただきました。これにより約496.8kgの資材削減につながったほか、梱包資材の重量についても約70%削減、輸送容積についても約60%削減するなど、輸送時の環境負荷低減にも寄与しています。これらの取組みにより、総量として約500kg規模の梱包資材削減と輸送効率の向上を実現しました。

単体梱包：モニター４台分　　**集合梱包**：モニター４台分

EIZOでは法人のお客様のご要望に合わせて、モニター大量導入時の環境負荷を軽減する特別仕様をご提案可能です。複数のモニターを一つの箱にまとめる集合梱包や、不要なスタンドやケーブル等を除いた仕様など、国内自社一貫生産を生かした柔軟な対応が可能です。

▶集合梱包仕様の詳細（ニュースリリース） https://www.eizo.co.jp/press/archive/2023/NR23-014.html

また、こうした取組みに加え、モニターの設置から廃材の回収までをEIZOに一括して依頼したことで、当社の搬入や廃棄に伴う作業や移動を削減できました。

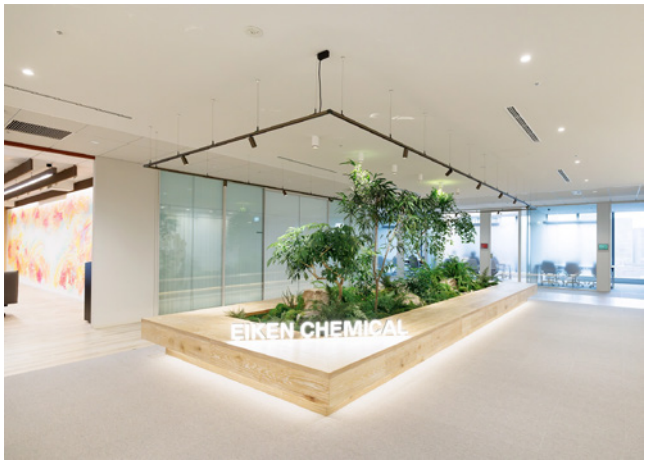
モニターの搬入・設置からケーブル整理まですべてEIZOで実施

EIZOでは法人のお客様を対象に、モニターの搬入や設置、不用な付属品の回収などのサービスをご提案しています。お客様の手間を省き、モニター導入後すぐに業務でお使いいただけます。さらに、ご要望に合わせて、モニターアームへの取付けや既設モニターの回収など、フレキシブルな対応も可能です。

オフィス環境は日々の業務を支えるインフラであると同時に、企業の姿勢を映し出す存在でもあります。今回の取組みは、単なる設備投資にとどまらず、環境への配慮に対する当社の意思を、具体的な形で示したものといえます。

今後の展望

今後は、モニター環境を含めたオフィス設備の継続的な改善にあたり、EIZOには安定した品質と運用面でのサポートを期待しています。環境配慮と使いやすさを兼ね備えた製品・サービスを通じて、働きやすさと生産性向上の両立を支えるパートナーとして、今後の活躍にも期待しています。



■ご協力
栄研化学株式会社
ホームページ：https://www.eiken.co.jp/

本事例の内容は取材当時のものであり、閲覧時点で変更されている可能性があります。ご了承ください。

EIZO株式会社
〒924-8566 石川県白山市下柏野町153番地
https://www.eizo.co.jp

製品に関するお問合せ　受付時間 月～金 9：30～17：00（祝日、当社休業日を除く）
映像ソリューション営業部 03-5764-3401
札幌営業所 011-737-6601　仙台営業所 022-212-8751　名古屋営業所 052-232-7701　北陸営業所 076-277-6790
大阪営業所 06-4807-7707　広島営業所 082-535-7701　高松営業所 087-869-0877　福岡営業所 092-715-7706

Copyright © 2026 EIZO Corporation. All rights reserved. (260706)